



背景

未来の姿をじっくりと想像すると、光の技術が必要になるシーンが沢山あることに気がつきます。ここでは未来の車の姿を想像してみます。IOWN Global Forumでも実際に未来の車について議論されています。IOWNと未来の車の関係についてご紹介します。

成果の概要

より安全な車を求めるとセンサーやカメラが多数配置されるでしょう。すると車内の配線は複雑になります。まとめ上げる必要が生じます。まとめると大容量な通信が必要になります。ここに光通信の技術が役立ちます。さらに先に未来まで見据えて事例を紹介します。

Case1. 楽しく安全に編



センサ・カメラが全方位配置、通信モジュールも
大量なセンサ情報・映像を束ねる大容量伝送路

光伝送技術

Case2. 生成AIと車編



生成AIの指示を受けるためのプログラマブルな車
低消費電力なコンピューティングフレームワーク

光電融合技術やIOWNコンピューティング技術

この研究がもたらす未来

省エネ・大容量・超低遅延な通信・コンピューティング技術はさまざまな場面で求められます。車もその1つです。至るところにIOWNは登場し、持続可能な世界の実現を支えます。

コラボレーションパートナー

矢崎総業株式会社

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com